地震一口メモ No. 125

『噴火速報』について

気象庁は平成 27 年８月４日から「噴火速報」の提供を始めました。

「噴火速報」は、火山が噴火した事実をいち早く伝えるため、**『〇〇山で、平成△年△月△日△時△分頃、噴火が発生しました。』**というシンプルな情報です。この情報は、登山中の方や周辺にお住まいの方に身を守る行動を取っていただくことを目的とし、気象庁のホームページ（ http://www.jma.go.jp/jp/funkasokuho/ ）、テレビ、ラジオなどで知ることができます。発表の対象となる火山や発表する条件は次のとおりです。

写真　桜島の噴火の様子（2008 年 2 月 6 日気象庁撮影）→

発表の対象となる火山…全国の活火山のうち、常時観測している 47 火山（図）
発表する条件…初めて噴火した場合、また、継続的に噴火している火山で
それまでの規模を上回る噴火を確認した場合

「噴火速報」を見聞きしたら、

- 近くの岩陰に隠れる
- シェルターや避難小屋に退避する
- ただちに下山する
- 入山を控え山から離れる

などの身を守る行動をとるようにしてください。

そして、情報を待って行動するのでは、間に合わない場合もあります。

- 煙が見える（噴煙）
- 地鳴りが聞こえる（地下からの鳴動）
- 臭いがする（火山ガス）

などの異常と思われる現象に気がついたらすぐに避難し、地元市町村、警察などに連絡しましょう。

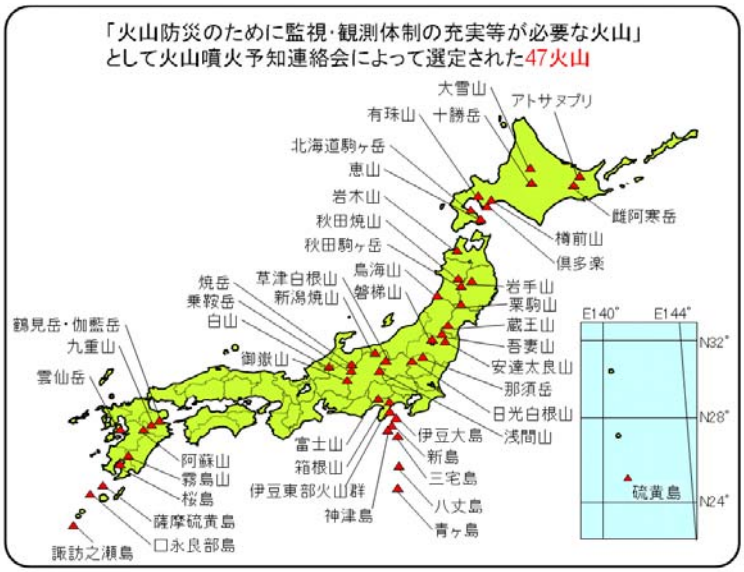

図　　47 常時観測火山

普段はおとなしい火山でも油断は禁物です。前触れもなく急に噴火することもある、ということを念頭におきましょう。

いつでも安全な措置をとれるように、事前に避難場所や避難経路、噴火が発生したときの行動、最新の火山情報を確認してから入山しましょう。また、噴火速報などの情報を入手できるように、携帯電話などの通信機器とその予備電池を持参しましょう。